



精華町立ほうその保育所（本文中に関連記事があります）

## 目次 / contents

### ひと・まち・地域 .....

精華町立ほうその保育所が完成しました / 三浦健史・廣部出 2

田園都市論に基づき開発された西向日のまち / 石本幸良 4

草津市における景観計画の策定にかかる基本方針づくり  
/ 石井努 6

### きんきょう .....

大学通り商店街の「劇場通りプロジェクト」 / 高田剛司 7

畑に花は咲いたのか？伊賀市菜の花プロジェクト / 鮎子田稔理 8

### メディア・ウォッチ .....

「消費税は0%にできる」 / 森脇宏 9

### まちかど .....

新しい大阪駅「大阪ステーションシティ」がオープンしました  
/ 橋本晋輔 10



ひと・まち・地域

京都事務所／三浦健史・廣部出

精華町立ほうその保育所が  
完成しました

平成10年に「精華町保育所づくりの構想」の策定をお手伝いしたのを皮切りに、児童育成計画や次世代育成支援地域行動計画の策定など、かれこれ10年以上に渡って、アルパックは精華町の子どもと子育てに深く関わってきました。その道の程、ちょっと大きめのマイルストーンとして、このたび「精華町立ほうその保育所」が完成しました。

#### 設計に至るまでの経緯

今回完成した「ほうその保育所」は、「旧ほうその保育所」と「旧ほうその第2保育所」という、精華町では最も古くに建てられた2つの直営保育所が統合したものです。

そもそも町内には、町立保育所が6施設あり、うち直営が4施設、民間委託が2施設ありました。直営4施設のうち、「旧ほうその保育所」は昭和46年、「旧ほうその第2保育所」は昭和51年に開所の施設であり、いずれも開所後相当年数が経過していることから施設や設備の老朽化が著しく、また、増築や改修を重ねていることから日常の保育や施設等の維持管理に多くの問題を抱えていました。

「旧ほうその保育所」の入所率は町内でいちばん高い一方、「旧ほうその第2保育所」では45人の定員に対して入所率が30%を下回るなど、集団保育

を適正な規模で実施できる体制を確保することが喫緊の課題となっていました。

こうした中で、町では「旧ほうその保育所」「旧ほうその第2保育所」の統合を目指し、平成18年度からは保育所検討委員会を設置して、町保育所再編の方針と併せた検討を進めてこられました。

その成果を踏まえて敷地要件や規模が検討され、2つの保育所の概ね中間に位置する敷地が選定されました。近鉄新祝園駅から徒歩約8分と近く、送迎にも便利な場所です。

#### 想いをかたちに

設計の前段では、町内保育所の保育士や調理士の皆さんと2回のグループワークを行いました。公設保育所の計画は、行政ご担当課との協議中心で検討を進めることが多いと思いますが、精華町では、保育所検討委員会がありますので“現場の声”が優先です。保育所づくりに向けて、たくさんのアイデアを頂きました。民間保育所と違って、保育士さんも調理士さんも、町内の直営保育所間での“異動”がありますから、皆さん、それぞれの保育所のいいところも悪いところも熟知されています。新しい保育所の端々に、このときのリアリティある意見交換がたくさん反映されています。



伸びやかな屋根と深い軒が形づくる外観

もちろん、我々も町内の保育所を見学しました。保育を支える周辺機能が充実している点が、都市部の保育所と異なるようです。敷地に余裕があることが大きいわけですが、そうはいつでも、厨房廻りの充実などは目を見張るものがありました。今回は、先行事例を踏まえてさらに発展させ、汚染・非汚染ゾーンの区分や給食の受け渡し、搬入動線などを工夫し、衛生管理上の理想型に近いかたちで整備することができました。



調理風景を覗ける窓



近鉄電車を眺める横長窓

### 赤茶の外壁と伸びやかな屋根に

配置計画は歩車分離を基本とし、道路と敷地の間にある水路には、歩行者用と自動車用の2つの橋を架けました。道路側に駐車場を設けて園舎で児童のセキュリティゾーンを区切り、その北側を園庭としています。区切ってはいますが、玄関ホールを南北面をガラスにしていますので、視線は通ります。外壁色は、素敵にシックな赤茶色に決まりました。町の子どもと子育てを応援する中心施設だから、ほかの保育所とは違う色に、ということです。近鉄電車からよく見えますが、夕日に照らされると赤色が増してきれいです。屋根形状は東側の山並みに合わせ、大きな円弧の緩く伸びやかなR屋根としました。個性ある外観はきっと子どもたちの記憶にも残るはず。コンクリートでR屋根を施工するのは大変でした。施工者の方々に頑張って頂いたおかげで美しい屋根ができました。玄関左の幼児棟とは分離して、乳児には独立した静かな環境を玄関すぐ右手に。昼寝用布団の持ち帰りのしやすさなど、保護者負担の軽減も考えての配置です。

### 子ども目線、利用者目線で

まず、設計上のテーマとしたのは、子ども目線の空間シークエンスです。子ども目線を意識すると、窓の高さや位置に工夫したくなります。その結果、「厨房は、衛生面から空間的に独立させるけれども、調理の様子は子どもたちに見てもらいたい」という相矛盾するリクエストに応じて、階段の踊り場から

調理風景を覗けるようにしました。(写真) ついでに、同じ踊り場の西面には、おとなの腿の高さに横長窓を。田んぼの向こうを走る電車も眺められる、楽しい踊り場になりました。エントランス上部の廊下では、窓の高さを考慮して下枠をベンチとし、読み聞かせやちょっとした談話のスペースなどとなるよう考えています。

その他、夏の日射を考慮し西側の窓を少なくしたり、日射角度を考慮した庇を設けています。庇は雨掛りを減らすので建物の長寿命化にもつながりますが、送迎時のベビーカー置き場、庇下の多目的利用など機能上の利点が多く、できる限り設けるべきだと思います。

いよいよ8月から本格運用が始まります。この建物が子どもたちの声で満たされるのが楽しみでなりません。

……to be continued.

実は、新しい「ほうその保育所」は、保育所が建て終わりでありません。同じ敷地内に、地域子育て支援センターの機能も担う「(仮称)子どもセンター」を整備する予定になっています。保育所と「(仮称)子どもセンター」との連携のもとにこそ、精華町の子ども・子育てを応援する中核的な役割が期待されているわけです。保育士さんなど職員の皆さんの間の情報・交流に係る機能、子ども・子育ての支援・交流に係る機能などの配置が想定されています。保育所という施設では実現が難しい空間づくりや、実験的な試みができる施設となるはずですので、大いに期待しています。



視線と風が抜ける玄関ホール



コルク床の0歳保育室



ベンチになる窓枠





田園都市論に基づき  
開発された西向日のまち  
京都事務所／石本 幸良

向日市の西向日駅周辺に広がる西向日のまちでのまちづくりの取組を紹介します。

西向日のまちは、昭和4年に阪急京都線西向日駅前で田園都市論に基づき住宅地が開発されました。現在も開発当初の道路骨格、ロータリー、噴水公園が残り、約300本の桜並木がまちを彩り、戦前の住宅も数多く、昭和初期の都市近郊住宅地の歴史を受け継いでいます。

このようなまちで、平成20年に地区内でマンション計画が持ち上がり、周辺住民を中心に反対運動が起こります。市では平成20年7月に「向日市まちづくり条例」を制定、住民のまちづくり活動の支援を開始しており、「西向日の桜並木と景観を保存する会」は「地区まちづくり協議会」の第1号として認定されます。

平成21年に京都府都市計画課から景観まちづくりアドバイザー派遣の要請があり、平成22年3月に景観まちづくり勉強会の講師を勤めました。これを契機に西向日のまちを歩きましたが、昭和初期のたたずまいをそのままに残し、住民のまちへの思いが街並みの表情に現れ、京都市周辺の住宅地の中で最高ランクのたたずまいであると確認しました。

平成22年度から市の依頼でまちづくりアドバイザーの支援を開始し、併せて平成22年度「住まい・



桜並木が連続する西向日の通りの表情

まちづくり担い手事業」の活動支援で府下で唯一のまちづくり活動地区として選定を受けました。

以下に平成22年度の実施した西向日のまちづくりをご紹介します。

#### 桜祭りと夏祭りの実施

まちの資源である桜並木への住民の関心を高め、地域コミュニティの向上を図るために「桜祭り」を開催しました。噴水公園のまわりでコンサートを実施し、夜は桜のライトアップに取り組みました。また、8月に「夏祭り」を実施し、夜店やコンサート、桜のライトアップの催しに約500の方が集まりました。2つのイベントは、桜並木の街並みを紹介する風物詩として育っています。

#### 桜並木のまちを語る会

西向日のまちの魅力の再確認、PR および住民の



第1回桜祭り（平成22年4月4日）



第1回夏祭り（平成22年8月22日）

みなさんにまちの歴史や資源の再認識を通じてまちへの誇りと維持する思いを共有することを目的に、「桜並木のまちを語る会」を連続開催しています。

平成22年度は住宅開発の歴史や桜並木の保全、まちの文化人についてなどのテーマで5回開催しました。多くの市民の参加で、普段知ることのできないまちの歴史や資源、文化的価値を学ぶことができたと高い評価を得ています。

#### 桜並木の現況カルテの作成

地区内の約300本のソメイヨシノの桜並木について、住民と行政の協働による維持、再生を図る取組を検討することを目的に、住民主体ですべての桜のカルテとマップを作成しました。平成23年度は引き続き調査、清掃活動、植樹を行い、住民主体の「桜並木保全ルール案」の作成を目指します。

#### 「西向日まち物語」の発行

西向日のまちの資源と魅力を把握するために、「まちの資源と魅力調査」を実施しました。そのまちの資源と魅力を紹介する冊子「西向日まち物語」を西向日の住宅史を併せて編集して発行しました。

#### 「西向日桜並木のまち憲章（案）」の策定

以上のような取組を踏まえ、会の1年間の活動成果として会メンバーの総意を得て、「西向日桜並木のまち憲章（案）」を策定しました。平成23年度はこの憲章案を広く西向日自治会全体に広報し、まち憲章として、地区まちづくり計画策定につなげていきます。

なお、以上の会の活動成果については「住まい・まちづくり担い手事業」の活動報告書で公開しています。また、「西向日まち物語」はアルパックのHPでご覧頂けます。

#### 西向日地区のこれからの活動の展開

保存会は平成22年度、住まい・まちづくり担い手事業の支援を受け、まちづくり学習会、イベント



藤井厚二氏の作と伝えられる石積みなどを実施し、住民のまちづくり意識の向上を図り、「西向日桜並木のまち憲章（案）」の策定に至りました。平成23年度はさらに桜並木の保全、住環境の保全、継承の活動を進め、まち憲章を西向日自治会の総意として、向日市まちづくり条例に基づく地区まちづくり計画案を策定し、市に計画案の提出を行うための活動を展開していきます。

また、新たに、地区内の歴史的建造物の保存活用への取組および市内のまちづくり活動団体との連携を進め、市の景観まちづくりの推進にも貢献することを目的に活動をさらに発展していきます。

平成23年6月12日に開催した第6回語る会で、関西大学名誉教授の永井規男先生にご講演をいただきました。その講演の締めくくりで先生から以下のような提案を頂きましたので最後にご紹介し、この取組を目標にさらに頑張っていきます。

（永井先生の講演からの抜粋）

西向日のまちに残る、桜並木、噴水公園、ロータリー、戦前の住宅と生垣、石積みの街並みなどは、どれも十分に「登録文化財」の価値と資格を有しています。是非とも市と協力して登録文化財の指定を目指していただきたい。



## 草津市における景観計画の 策定にかかる基本方針づくり 京都事務所／石井 努

平成 22 年度に、草津市で景観計画基本方針づくりが進められました。

草津市も構成員の一員となっている滋賀県は、全国的にみて「元気」な自治体といわれており、草津市はその中であって、現在でも人口増加が続いている地域となっています。

元気なまち、草津市の景観づくりの取組は、平成 22 年の 11 月に景観計画策定委員会が立ち上がり、12 月末から 1 月末にパブリックコメントを実施、23 年 2 月には市長へ答申という、タイトなスケジュールで策定が進みました。その後、3 月には景観行政団体となる旨を県から公示され、この 6 月には同団体へ移行することになります。

策定委員会の委員長は、かつて草津市史の編さんや古地図の編さんに携わられた人間文化研究機構の機構長金田章裕先生です。

短期間で集中的に開催された策定委員会では、活発な意見交換が繰り広げられ、草津の景観的特性として、「山地や丘陵地が少なく、平地が多いことから、「空」が広く美しく見える」といった意見や、「遠望がきくため、スカッと晴れた日には米原の伊吹山が見える」といった意見などが出され、こういった特性を活かした基本方針づくりが進められました。

「伊吹山が見える」といった意見について、草津市から伊吹山の距離を考えると、最初は少々の疑問がありましたが、現地調査を行っていく中で晴れ渡った日があり、何気なく遠くを眺めていると、思いのほか大きな「伊吹山」を眺めることができ、大

変驚いた記憶があります。

そもそも、なぜ草津市で景観づくりを進めていく必要があるのか？という疑問をもたれるかもしれません。

草津市は、かつての東海道、中山道が通っており、草津宿の本陣をはじめとしてかつての町並みといった歴史的景観がみられる他、田園の広がる市域の西側は琵琶湖に面しており、美しい水面と、比叡山や比良山といった湖西の山並など、自然的景観を楽しむことができます。

一方、駅前には高さ 100 m を超える集合住宅など、高層建築物が林立し、県内でも特筆すべき都市景観が形成され、中心部から市域東側のなだらかな丘陵部にかけて中低層の住宅地や工業地が混在し、コンパクトな市域でありながら、多様な景観の要素がひしめいています。

ただ、京都・大阪のベッドタウンとして急成長してきた経緯があり、「群馬の草津温泉と間違われる」といったことも耳にすることもあり、まちのアイデンティティをどこに求めるのか、真剣に考えなければ、市民のまちへの愛着も深まることはないと思います。

この点については、多くの草津市民も考えておられ、平成 21 年度策定の第 5 次総合計画では「ふるさと」という言葉が将来ビジョンに位置づけられています。

今回の景観づくりの取組をきっかけに、市民の地域への愛着が深まり、地域の活性化につながっていくことが期待されます。



広大な田園と鎮守の杜、向こうには雪化粧をした比良山地を望む





きんきょう

## 大学通り商店街の「劇場通りプロジェクト」

大阪事務所／高田剛司

関西有数の総合大学である近畿大学は、本部キャンパスが東大阪市にあります。最寄駅の近鉄長瀬駅から大学西門までは、3つの商店街、100店舗以上で形成され、約800mの「大学通り」が学生街らしい雰囲気をも醸し出しています。

### 大学通りを「劇場通り」へ

この商店街でも、以前に比べて学生街の雰囲気が薄れていっていると言われていました。エリアによっては空き店舗のままの状態が続いていたり、商店街としてこれまで様々な活動を行ってきたものの、大学や学生、地域とのつながりがあまり出ていないという課題を抱えていました。

こうした課題を解決するために、昨夏、3つの商店街関係者や地域住民、NPOで活動されている人なども入った場で検討が始まりました。議論の中で、この近くには、戦前、帝国キネマの長瀬撮影所があったこと、そもそも、商店街には「買う」だけでなく、「人が集う」機能があり、集うためには、「魅せたり」、「魅せられたり」という魅力づくりが大事である、といった意見が出されまし

た。そして、大学通りの将来像として、「劇場通り」を掲げ、それを具現化する最初の活動に「CMコンテスト」が選ばれました。

その後は、実行委員会を立ち上げ、前述のメンバーのほか、近大の学生や先生も加わり、募集から説明会、一次審査、今年5月の最終審査まで、約半年にわたって準備が進められてきました。

### なぜCMコンテストか

商店街のお店のCMコンテストというと、単なるお店の宣伝作品づくりと思われがちですが、ここには次のような思いが込められています。

「CM制作の過程を通じて、お店と撮影する側（学生や住民）のコミュニケーションが図られること」

したがって、CM作品を作りたいという応募者（主に学生）とお店のマッチングは、商店街側で積極的に取り組んでいただきました。

### CMコンテスト審査会

最終審査会は、ぜひ多くの人に見てもらいたいという思いから、公開型になりました。また、「地域」の方に来ていただくためには、審査だけでなく、よさこい踊り、落語、マジックショーなど、学生サークルのパフォーマンスの機会や、商店街のお店が屋台を出す企画も盛り込み、春祭りの

一環として、CMコンテストの最終審査を企画しました。商店街が空き店舗を活用して2年前に開設した「いどばた広場」では、サブ会場として「懐かしの写真展」も開催し、大学通りでの回遊性が生まれることを期待しました。

当日は、R-1グランプリで準優勝を獲得し、テレビでも活躍されている芸人のエハラマサヒロさんと、東大阪のCATVでレポーターとして活躍されている欣ちゃんのダブル司会で進行していただき、制作者や審査員、観客も巻き込んだ絶妙のトークで、コンテストは大いに盛り上がりました。また、応募された作品はどれもすばらしく、審査員の方が点数を付けるのに、たいへん悩まされていたのも印象的でした。

実行委員会には、商店街関係者だけでなく、多様な人の関わりが生まれたことが大きな成果であると考えます。今回の取り組みをキックオフとして、次に向けてのアイデアが早速出てきており、これからの活動の広がりが楽しみです。

なお、最終審査に残った10作品は、YouTubeで自由に見ることが出来ますので、ぜひ、アクセスして力作をご覧ください。

<http://www.youtube.com/user/ChinDonYa3#g/u>



大学通りの様子



最終審査の様子（舞台は手作りです）



閉会后、制作者・司会者・審査員が全員集合！



## きんきょう

### 畑に花は咲いたのか？ 伊賀市菜の花プロジェクト

大阪事務所／鮎子田稔理

ニュースレター165号で「畑に花を咲かせましょう」というタイトルで、菜種の種まきを行ったことをご紹介いたしました。今回春の遠足では、「我々が撒いた種は無事育ったのか？」ということを確かめるべく再び伊賀市に行き参りました。

まずは、地元の方のご案内でワラビ採り、タケノコ堀体験、などで体を動かした後、にうれしいお餅を丸める作業を体験。もうお昼時だったので、丸めながらぱくつと頬ばる甘いあんこの入った草餅はまことに美味しかったです。

その後、用意していただいた昼食を皆でお手伝いして整え、美味しくいただきました。

山菜の天ぷらに伊賀牛の炒め物、タケノコとワラビの煮物、先ほど作った草餅に山菜の炊き込みご飯。どれも地元ならではの何気ない日常の食べ物ですが、地元の食材を使った安全で安心なご馳走でした。

もともと「馳走」という字は「馳せる、走る」という字から成っています。客人をもてなすために走りまわって整えられた料理は最高のご馳走となります。

さて、我々が11月に種まきを



菜の花畑で記念撮影

した畑ですが、他の畑より明らかにまばらに咲いておりました。初心者なので、どうしても撒き方が不均一になってしまうのです。大人は苦笑いしながらも、子どもたちは菜の花の中で記念撮影。(斜めから撮ると菜の花が密生しているように見えます)

今度撒く機会があればもう少しマシに撒きたいと固く心に誓うのでした。

我々が菜の花の観賞を楽しんでいる頃、近くの田んぼでは田植えの真っ最中でした。

田植えが終わって一息ついた頃には、この美しく咲く菜の花も種をつけ収穫時期に入ります。

そして今年の菜種油が7月以降順々に絞られていくのです。

おかげさまで、昨年は約18tの菜種から約6tの油を絞り、自己消費や販売で在庫はほとんど残っていないという状況です。

アルバックでは、一昨年以來搾油施設の設計やパッケージデザインなどでこの菜種油「七の花」の生産や販売促進のお手伝いをしてきました。昨年は総合パンフレットの作成を致しました。作成過程で何人かのプロの料理人の方にもお話を聞きましたが、皆さん共通していたことは、スープや蒸し料理の仕上げにエクストラバージン菜種油をかけるなど、「七の花」の色の美しさと香りを



田植えの様子



みんなでお餅を丸める



菜種油で揚げた山菜の天ぷら

できるだけ新鮮な状態で料理に生かしたいということでした。

是非、今年の絞った菜種油を一度お試しください。

#### エクストラバージン菜種油七の花

(焙煎せずに低温で絞り時間をかけて自然ろ過を繰り返した自慢の一品) 94g 184g

#### 一番絞り菜種油七の花

(昔ながらの焙煎・压榨方式で絞った菜種油) 453g

商品に対するお問い合わせは

**社) 大山田農林業公社**

TEL0595-47-0151

#### お詫びと訂正

前号の「だん王保育園の耐震補強工事が完成しました」の文中に誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、以下の通り訂正致します。

誤 壇王法林寺

正 檀王法林寺

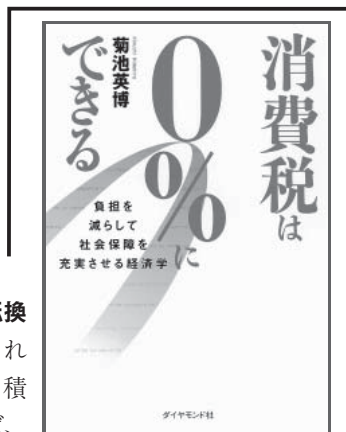


## MEDIA WATCH

### 「消費税は0%にできる」

著者：菊池 英博

発行：ダイヤモンド社



#### 主題は緊縮財政から積極財政への転換

刺激的なタイトルですが、主張されていることは「現在の緊縮財政から積極財政に転換して景気をよくすれば、税収が上がり、消費税に頼らなくてもよくなる」という内容です。東日本大震災を契機とする復興税（消費税）が議論されている今日、国の財政のあり方を根本的に問い直す好著だと思います。

著者の菊池英博氏は、豪州東京銀行取締役頭取などを歴任後、文京女子大学教授を務められた経済学者です。今年3月23日の参議院予算委員会・公聴会で、東日本大震災対応について、藤井聡先生（京大大学院教授）とともに出席され、藤井先生と波長のあった公述をされていたことで注目し、具体論を学ぶため本書を読み、共感しました。

菊池氏の主要な論点を、次の3点にまとめてみました。第1に、今日のデフレ下では積極財政を採るべきであり、緊縮財政を採ると不況に陥ることは歴史が証明している。第2に、日本は財政危機ではなく、世界一の債権国であるため、積極財政を取る余力は十分ある。第3に、この十数年間、他の先進国と違って日本の経済はまったく成長できておらず、財政の過ちの何よりの証拠である。以下、これらの論点について、もう少し紹介してみます。

#### 歴史が示すデフレ脱却策は積極財政

1929年アメリカの大恐慌は、ニューヨークの株式市場の大暴落に始まり、その後の税収激減に際して、当時のフーバー大統領が歳出削減と増税による緊縮財政を取り、大恐慌に陥りました。そして次の大統領に就任したルーズベルトが、ニューディール政策で積極財政を展開し、デフレから脱出できました。

日本でも、昭和恐慌時に大蔵大臣に就任した高橋是清は、公共投資中心の財政支出を大幅に増加させ、経済成長を実現して、昭和恐慌を終焉させました。



紹介者／大阪事務所 森脇 宏

近年の日本も、橋本政権以降（小渕時代を除いて）緊縮財政が続き、今日の平成不況が続いています。

#### 特別会計を改善すれば投資余力はある

緊縮財政の理由として挙げられる財政危機は虚像のようです。日本の財政を一般会計と特別会計でみると、2007年度の一般会計の歳出総額は81.8兆円で、このうち約6割の47.9兆円が特別会計に繰り入れられ、歳出超過分の25.4兆円が国債発行されています。一方、特別会計は歳入超過で、33.6兆円の繰越金が出ています。すなわち、繰越金が出る特別会計に、一般会計から繰り入れる必要はなく、逆に繰越金を一般会計に繰り入れれば、国債発行は不要で、さらに数兆円の投資余力も産み出されます。

#### 経済成長ゼロという異常な日本

こうした不合理な緊縮財政の結果、日本経済は十数年にわたって成長が止まり、名目GDPは、橋本財政改革が始まった1997年を100とすると、2008年の日本も100とまったく成長できず、同様の比較でアメリカは173、ユーロは152と、日本の低迷ぶりが如実に示されます。さらに、一人当たりの名目GDPでも、1994年の日本は世界で1位でしたが、2007年末には19位まで落ちてしまっています。

以上が菊池氏の論点の大胆な要約です。仮に財政政策を巡る評価が少々分かれても、最後の経済成長に関する厳しい現実には直視すべきでしょう。

#### 大震災を契機に積極財政への転換を

マスメディアでは、依然として震災復興のための増税という論調が跋扈していますが、被災地の生活再建や産業再建を考えると、景気回復なしの復興はあり得ないし、増税（消費税）と景気回復が両立しないことは、この間の日本が体験してきた事実です。

震災復興を支える景気回復を実現していく観点から議論が深められ、積極財政に転換されていくことを強く願います。



## 新しい大阪駅

### 「大阪ステーションシティ」がオープンしました

大阪事務所／橋本 晋輔

大阪の玄関口である大阪駅。その大阪駅が5月4日に新しく生まれ変わりました。新しい駅のキャッチコピーは「大阪駅が“まち”になる」。大阪駅の大改修と共に、駅の北側に商業施設の「LUCUA（ルクア）」、大阪初の伊勢丹「JR 大阪三越伊勢丹」がオープンし、増床した駅南側の大丸梅田店と併せて「大阪ステーションシティ」となりました。

今回の改修で一番目を引くのは、やはり駅のホームを覆う大きな屋根です。駅をすっぽりと覆う大きな屋根はこれまでの駅にない新たな広がりを感じさせます。ただ、新しい屋根が高すぎて雨風が強いと雨が吹き込んでしまうので（私も一回ホームで傘をさしました）、元々ホームの上にある小さな屋根は残念ながら未だ撤去されずに残っています。

もう1つ今回の改修で特徴的なのはステーションシティの中に8つの広場が作られたことでしょうか。広場はどれも九州新幹線の「さくら」や貴志川線の「いちご電車」などのデザインを担当した水戸岡鋭治氏がデザインをしています。個人的に特に気に入っているのは橋上改札口の上にある「時空の広場」で、広場にはオープンカフェもあります。昨年、ヨーロッパに行った際、ヨー



時空の広場

ロッパの鉄道駅はなんてカッコいいんだと感動しましたが、その時感じた感動が「時空の広場」にはありました。ちなみにオープンカフェのアイスクリームもなかなかおいしかったです。

また、北側のビルの屋上には「天空の農園」という広場があり、野菜などを育てられる本物の農園があります。オープン前から噂で聞いていたので楽しみにしていたのですが、意外と農業をできる場所は小さく、2m × 2m 程度の区画が約 20 区画ある程度です。ただ、農園の方曰く、問い合わせが非常に多く、注目度は高いようです。

その他にも、ステーションシティのガイドツアーがあったり、日本発の電気自動車（EV）専用のタクシー乗り場があったり、新しいもの好きな大阪らしい仕掛けが色々あり、ただの交通結節点ではない一つの拠点として大きく生まれ変わっています。

大阪では阿倍野にこの4月にキューズモールがオープンし、これから近鉄阿倍野本店再開発、阪急うめだ本店の建替え、大阪駅北ヤード（うめきた）先行開発地区オープンと大規模な開発が目白押しです。オーバーストアだという声もよく聞かれますが、それぞれがうまく個性を出しあい大阪自体の魅力が向上することを期待します。



天空の農園

## アルパック(株)地域計画建築研究所

Architects Regional Planners & Associates · Kyoto

<http://www.arpak.co.jp> E-mail [info@arpak.co.jp](mailto:info@arpak.co.jp)

本 社

京都事務所 〒 600-8007 京都市下京区四条通り高倉西入立売西町 82

大阪事務所 〒 540-0001 大阪市中央区城見 1-4-70 住友生命 OBP プラザビル 15F

名古屋事務所 〒 460-0003 名古屋市中区錦 1-19-24 名古屋第一ビル 6F

東京事務所 〒 102-0074 東京都千代田区九段南 3-5-11 スクエア九段ビル 1F

九州事務所 (株) よかネット 〒 810-0802 福岡市博多区中洲中島町 3-8 福岡パールビル 8F TEL(092)283-2121 FAX(092)283-2128

TEL(075)221-5132 FAX(075)256-1764

TEL(06)6942-5732 FAX(06)6941-7478

TEL(052)202-1411 FAX(052)220-3760

TEL(03)3288-0240 FAX(03)3288-0221